

## 第 3 回アジア・スマートシティ会議を開催 アジア新興国の市長や国際機関と共に アジアの持続可能な都市づくりを世界に発信

### 1. 概要

「アジア・スマートシティ会議」は、市内企業の海外展開支援や横浜のシティプロモーションを進めている「Y-PORT 事業」の一環として、平成 24 年から毎年本市が行っています。第 1 回の 11 都市、第 2 回の 21 都市に引き続き、第 3 回は過去最多の 22 都市から、市長や副市長などの政策決定者が参加して、開催されました。

### 2. 内容

- ・林市長による開会挨拶、北村環境副大臣、中根外務大臣政務官による基調講演、オルテガ前シティネット事務局長による来賓スピーチに続き、参加都市代表者や国際機関等により、スマートシティ実現に向け、計三つのセッションが行われました。
- ・セッション 1 では、具体的な事例紹介も含んだディスカッションを行い、会議参加者全体に都市づくりにおける都市間連携の有効性について知見を共有しました。
- ・セッション 2 では、パネリストの各都市がそれぞれの都市の競争力や各事業について議論しました。
- ・クロージングセッションでは、政府・国際協力機関が、先進都市と新興都市との連携をどのように下支えするか、政策論や方法論について議論しました。

### 開催概要

日時： 平成 26 年 10 月 30 日（木）13:00-16:40

場所： ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル3階 ポールルーム

主催： 横浜市

後援： 外務省、環境省、JICA（国際協力機構）

参加都市： アンコール遺跡地域(カンボジア)、バンガロール市(インド)、バンコク都(タイ)、セブ市(フィリピン)、セブ州(フィリピン)、コロンボ市(スリランカ)、コンポステラ市(フィリピン)、ダナン市(ベトナム)、ダナオ市(フィリピン)、北ダッカ市(バングラデシュ)、南ダッカ市(バングラデシュ)、ハイフォン市(ベトナム)、ホーチミン市(ベトナム)、キエンザン省(ベトナム)、北九州市(日本)、マカッサル市(インドネシア)、ナガ市(フィリピン)、プノンペン特別市(カンボジア)、サンフェルナンド市(フィリピン)、セベランペライ市(マレーシア)、ピエンチャン首都圏庁(ラオス)、横浜市

※22 都市、アルファベット順

参加機関： ADB(アジア開発銀行)、C40(世界大都市気候先導グループ)、CITYNET(シティネット)、Fundación Metrópoli(ファウンダシオ・メトロポリ)、イクレイ、IGES(公益財団法人地球環境戦略研究機関)、JICA(国際協力機構)、環境省、外務省、WRI(世界資源研究所)、横浜市立大学

## プログラム

### ●写真撮影



### ●開会挨拶

横浜市長 林 文子



### ●基調講演

環境副大臣 北村 茂男氏



### ●基調講演

外務大臣政務官 中根 一幸氏



### ●来賓スピーチ

イクレイ副代表/前シティネット事務局長  
メリー・ジェーン・オルテガ氏



●ネットワーキングブレイク1



●テーマ別セッション

セッション1 「スマートな都市経営に向けた都市間連携の有効性」

モデレーター	シティネット	事務局長	ビジェイ・ジャガナサン氏
パネリスト	バンコク都	バンコク都知事最高顧問	ヴァロップ・スワンディー氏
	セブ州	知事	ヒラリオ・ダビデ三世氏
	ダナン市	人民委員長(市長)	ヴァン・フー・チェン氏
	ハイフォン市	省エネルギー及びクリーナープロダクションセンター次長	トラン・キャン・フン氏
北九州市	環境局アジア低炭素化センター担当部長	石田 謙吾氏	



セッション2 「スマートな都市づくりを通じた競争力のある都市の創造」

モデレーター	シティネット	事務局長	ビジェイ・ジャガナサン氏
パネリスト	アジア開発銀行	東アジア局副局長	エイミー・リャン氏
	バンガロール市	コーポレーター	ラサ・ナラシママーシー氏
	ファウンダシオ・メトロポリ	代表	アルフォンソ・ベガラ氏
	セバランペライ市	市長	マイムナー・モハンマド・シャリフ氏
マカッサル市	副市長	シャムス・リザル・マルスキ・イブラヒム氏	



●ネットワーキングブレイク2

●クロージングセッション「スマートな都市が持続可能な開発において果たす役割：ドナー側からの視点」

モデレーター 横浜市立大学 特任教授 井村 秀文氏  
パネリスト C40 南アジア・西アジア担当ディレクター サンジェイ・スリドハール氏  
JICA 社会基盤・平和構築部技術審査役 岩間 敏之氏  
WRI 持続可能な都市センター グローバル・ディレクター アニルダ・ダスグプタ氏  
外務省 国際協力局開発協力総括課長 徳田 修一氏



●講評

IGES(公益財団法人地球環境戦略研究機関)

森 秀行所長



この後、都市や国際機関同士のネットワーク化を図るため、ネットワーキングセッションが行われました。

【環境未来都市】

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。

横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。



第3回アジア・スマートシティ会議参加者

※アルファベット順(都市/国・関係機関別)

NO.	都市名/組織名	国	名前	役職
1	アンコール遺跡地域	カンボジア	Mr. Sok Sangvar	アンコール地域保存維持管理機構 アンコール地域観光管理計画部門長
2	バンガロール市	インド	Ms. Latha Narasimamurthy	コーポレーター
3	バンコク都	タイ	Dr. Vallop Swandee	バンコク都知事最高顧問
4	セブ市	フィリピン	Mr. Edgardo Labella	副市長
5	セブ州	フィリピン	Mr. Hilario Davide III	知事
6	コロombo市	スリランカ	Mr. Mohamed Faiz Mohamed Hussain Manzil	市議会院内幹事長
7	コンボステラ市	フィリピン	Mr. Joel P. Quino	市長
8	ダナン市	ベトナム	Mr. Van Huu Chien	人民委員長(市長)
9	ダナオ市	フィリピン	Mr. Ramon D. Durano III	市長
10	北ダッカ市	バングラデシュ	Mr. Md Faruque Jalil	市長
11	南ダッカ市	バングラデシュ	Mr. Md Ibraheem Hosein Khan	市長
12	ハイフォン市	ベトナム	Mr. Tran Canh Hung	省エネルギー及びクリーナープロダク ションセンター次長
13	ホーチミン市	ベトナム	Dr. Nguyen Anh Tuan	建築計画局副局長
14	キエンザン省	ベトナム	Mr. Mai Van Huynh	人民委員会副委員長(副市長)
15	北九州市	日本	Mr. Kengo Ishida (石田 謙吾)	環境局アジア低炭素化センター 担当部長
16	マカッサル市	インドネシア	Mr. Syamsu Rizal Marsuki Ibrahim	副市長
17	ナガ市	フィリピン	Mr. Valdemar M. Chiong	市長
18	ブノンベン特別市	カンボジア	Mr. Trac Thai Sieng	副市長
19	サンフェルナンド市	フィリピン	Mr. Antonio Canoy	市長
20	セバランペライ市	マレーシア	Ms. Maimunah Mohd Sharif	市長
21	ピエンチャン首都圏庁	ラオス	Mr. Saythong Keodouangdy	副知事
22	横浜市	日本	Ms. Fumiko Hayashi (林 文子)	市長
23	横浜市	日本	Mr. Nobuya Suzuki (鈴木 伸哉)	副市長
24	アジア開発銀行		Ms. Amy Leung	東アジア局副局長
25	C40(世界大都市気候先導グループ)		Mr. Sanjay Sridhar	南アジア・西アジア担当ディレクター
26	C40(世界大都市気候先導グループ)		Ms. Yan Peng	東アジア担当ディレクター
27	CITYNET		Dr. Vijay Jagannathan	事務局長
28	CITYNET / ICLEI		Ms. Mary Jane Ortega	特別顧問(前事務局長) / 副会長
29	ファウンダシオ・メトロポリ	スペイン	Dr. Alfonso Vegara	代表
30	地球環境戦略研究機関(IGES)	日本	Mr. Hideyuki Mori (森 秀行)	所長
31	国際協力機構(JICA)	日本	Mr. Toshiyuki Iwama (岩間 敏之)	社会基盤・平和構築部 技術審議役
32	環境省	日本	Mr. Shigeo Kitamura (北村 茂男)	環境副大臣
33	外務省	日本	Mr. Kazuyuki Nakane (中根 一幸)	外務大臣政務官
34	外務省	日本	Mr. Shuichi Tokuda (徳田 修一)	国際協力局開発協力総括課長
35	世界資源研究所(WRI)		Mr. Aniruddha Dasgupta	持続可能な都市センター グローバル・ディレクター
36	横浜市立大学	日本	Prof. Hidefumi Imura (井村 秀文)	グローバル都市協力研究センター シニアプロジェクトマネージャー 特任教授